

会社員や主婦らが

義太夫教室発表会

サラリーマンや主婦らによる「義太夫教室発表会」が23日、大阪市中央区の山本能楽堂で行われ、肩衣カニカミをつけた本格的な太夫スタイルで舞台を楽しんだ。写真。

義太夫は、江戸前期に竹本義太夫（1651〜1714年）によって確立された代表的な語り芸で、太夫の語りと三味線で物語を表

現する。義太夫教室は、第一線で活躍する文楽の豊竹



英大夫人オウダイフじん（61）が指導。月1回、約40人が稽古に励んでいる。

この日は、主君を討った光秀とその家族の苦悩、悲しみを描いた大曲「絵本太功記」の中の「尼ヶ崎の段」に挑戦。床本を置く見台の前に一人ずつ座って、リレー形式で披露。最初は少し緊張した面持ちだったが、登場人物の心情を語る部分では少しずつ感情移入し、見事に練習の成果を發揮していた。